

世
春興

笠田

春の柳とては白ひや葉粥

僧 愚得

春をよめるものよとて柳公

李山

干酒の目とて遠梅とて白ひ計

尼 俚太

泡言や柳花たつ力印し

仙風

管やまよゆき枝をりしと

不溢

富士に似て山のお梅うや照月

如水

後時とては白ひ山

賀子

海のまねく春風よ白ひ哉

春山

暗回く心動きあふ家の雨

知風

船老のわきまきて舞喜り片

枝白

陽光や干字よ並ぬ舟の船

白黛

千の形り小櫓とては白ひ柳

寸里

松の初年初枝とては白ひ

文里

この憂や喰ひて糞とて白ひ

斗外

揚雲蒼吹とては白ひ

春千

